

SEGASAMMY REPORT 夏号

特集

**エンタテインメントを生み出す、
セガサミーグループの主要会社紹介**

マネジメントメッセージ

総合エンタテインメント企業グループとして
シナジーの創出を追求していきます。

SEGASAMMY TOPICS

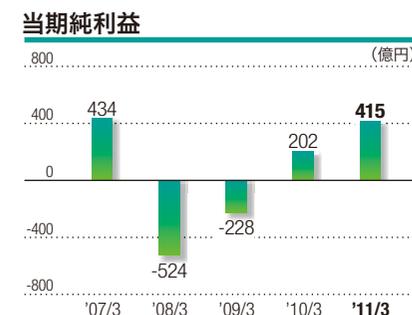
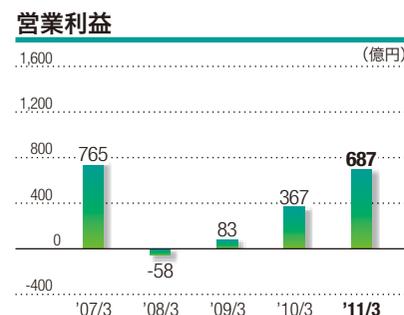
Past & Future
セガサミーの「これまで」と「これから」



Q 当期の業績の概況を教えてください。

A 前期比で大幅な増益を達成しました。

当期の連結売上高は3,967億円(前期比3.1%増)、営業利益は687億円(前期比87.3%増)、経常利益は681億円(前期比89.6%増)となり、前期比で増収増益を達成しました。これは主に利益率が高い遊技機事業が好調に推移したことによるものです。



総合エンタテインメント企業グループとして シナジーの創出を追求していきます。

セガサミーホールディングス(株) 代表取締役会長兼社長
サミー(株) 代表取締役会長CEO (株)セガ 代表取締役会長CEO
里見 治

営業利益は
687億円。
前期比87.3%の
増益を達成。

Q 当期の業績をどのように評価しますか？

A 2009年3月期より取り組んできた
収益改善策の成果を感じ取ることができた1年でした。

安定収益を確保できる組織を構築するために、2009年3月期より全ての事業セグメントで収益改善に向けた施策に取り組んできました。その成果が、当期の売上高増加や営業利益の飛躍的な改善となって表れたとみています。とはいえ、コンシューマ事業における収益改善等、引き続き数多くの課題に挑んでいかなければなりません。

セグメント別概況について

遊技機事業の利益率が改善している要因は何ですか？

利益率が高い製品の販売が好調であることや、部材の再利用によって原価低減を図ったことなどが主な要因です。

利益率の高い主力パチスロ機が、パチンコホール・プレイヤー双方から支持され、好調な販売を継続していることが最大の要因です。また、液晶をはじめとした部材の再利用を推進して原価低減に取り組んだことも、遊技機事業の利益率改善に結びつきました。

アミューズメント機器事業のレベニューシェアタイトルの稼動状況を教えてください。

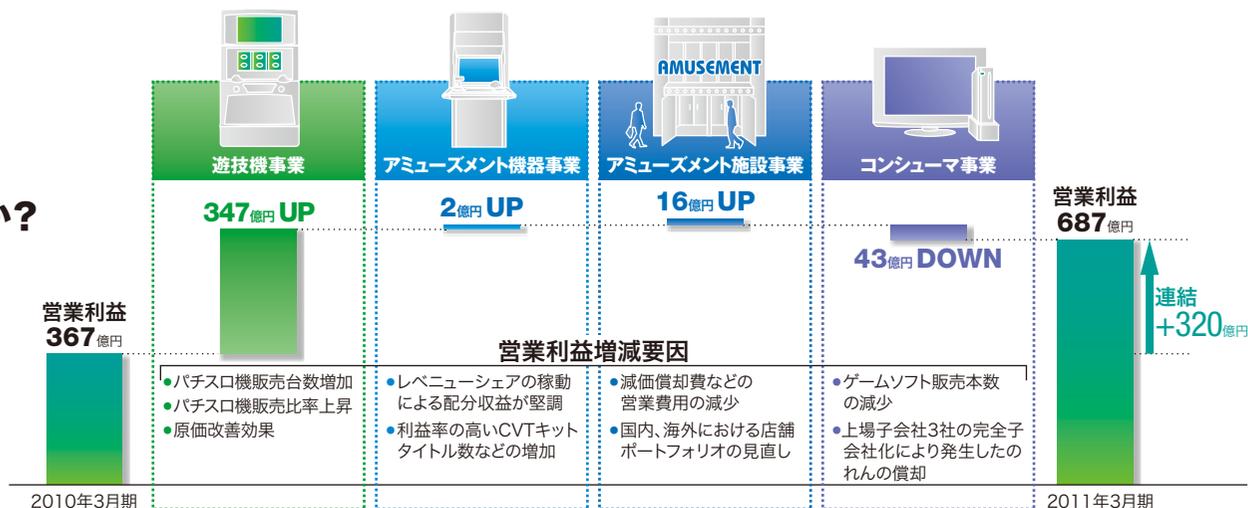
前期に引き続き配分収益は好調に推移しています。

レベニューシェアタイトルの稼動は引き続き好調に推移しています。当期における国内のアミューズメント機器やプライズ等の売上高において、レベニューシェアタイトルの稼動による配分収益が占める割合は約14%となり、サービス開始以降、上昇が続いています。

コンシューマ事業における新たなプラットフォームへの取り組み状況を教えてください。

スマートフォンやSNSなど新たなプラットフォームに対する取り組みを本格的に開始しました。

当期においては、iOS向けに「Kingdom Conquest」の供給を開始し、すでに全世界でダウンロード数が100万件を突破しています。また、アジア地域におけるオンラインゲーム事業に取り組むなど多様なプラットフォームに対して積極的なタイトル供給に取り組んでいます。



アミューズメント施設事業が営業黒字化した要因について教えてください。

不採算店舗の閉店・売却、営業費用の削減ならびに運営力強化などの施策が功を奏しました。

直近3カ年で約200店舗の閉店・売却を実施するとともに、営業費用を削減するなど収益構造の改革に取り組み、加えて運営力の強化を図ってきたことが、4期ぶりの営業黒字を達成できた要因です。さらなる収益性改善に向け、北米のアミューズメント施設事業の売却を決定しています。

好調なパチスロ機の販売がグループ収益を牽引。スマートフォン・SNS向けコンテンツ事業の本格展開を開始。



来期の見通しについて

来期の見通しについて教えてください。

引き続き収益改善に向けて全力で取り組みます。

遊技機事業ならびにコンシューマ事業における主力タイトルの販売によって増収を見込む一方、東日本大震災の影響に起因した部材調達リスクや個人消費の低迷などを考慮した結果、減益を見込みます。2012年3月期通期においては連結売上高4,500億円(前期比13.4%増)、営業利益600億円(前期比12.7%減)、経常利益590億円(前期比13.4%減)、当期純利益330億円(前期比20.5%減)を計画しています。しかしながら、このような困難な状況にあっても、引き続き収益改善に向けて、全力で取り組みます。

株主還元策について教えてください。

今後も利益に応じた適正な株主還元を努めていきます。

当期においては、年間配当40円(中間配当20円、期末配当20円)をお支払いいたしました。また、1,700万株の自己株式を消却するとともに、新たに、1,400万株(取得総額:242億円)の自己株式を取得しました。2012年3月期においては、当期と同様、年間配当40円(中間配当20円、期末配当20円)を予想しています。今後も引き続き、利益に応じた適正な株主還元を努めていきます。

タイヨーエレクトの完全子会社化 TAIYO ELEC

当社、サミー(株)およびタイヨーエレクト(株)は、2011年5月13日開催の各社の取締役会において、当社の普通株式を対価として、サミーを株式交換完全親会社、タイヨーエレクトを株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議しました。

当社は、2010年12月1日、総合エンタテインメント企業としての競争力を強化することを企図して、上場子会社であった(株)サミーネットワークス、(株)セガトイズおよび(株)トムス・エンタテインメントを完全子会社化し、グループ内の経営資源を相互に有効活用するための体制を整備いたしました。本株式交換は、セガサミーグループにおける唯一の上場子会社であるタイヨーエレクトを完全子会社化することで、グループ経営体制を一層強化し、グループ収益力の極大化を図るためのものです。

具体的には、サミーとタイヨーエレクトが今まで取り組んできた管理・営業部門の人材交流および一部の部材の共有化に加えて、優秀な開発人材の交流、グループ内の有力IP(知的財産)の活用や技術融合を伴う共同開発等を通じて、タイヨーエレクトの遊技機開発能力を向上させることによって、遊技機市場において確固たるタイヨーエレクトブランドの確立をめざします。また、生産面においてもより一層の部材の共用化・共同購買等の実現によってさらなる製造原価の低減を図ります。

サミーに対する 第三者割当による自己株式の処分について

- 処分期日 2011年5月30日
- 処分株式数 普通株式 4,423,660株
- 処分価額 1株あたり1,583円
- 資金調達の額 7,002,653,780円
- 募集又は処分方法 第三者割当による
- 処分先 サミー株式会社
- その他 処分後の自己株式の数 10,081,002株

サミーによる当社株式を対価とした タイヨーエレクトの完全子会社化について

- ・ 株式交換効力発生日:2011年8月1日(予定)
- ・ タイヨーエレクト株式1株に対して、セガサミー株式0.40株を割当てる株式交換により、完全子会社化→セガサミー株式:4,423,660株を使用(予定)

タイヨーエレクトの業績推移



特別報告

東日本大震災復興支援の取り組み

2011年3月11日に発生いたしました「東日本大震災」につきまして、被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この度の地震による被災者の救済及び被災地の復興に役立てていただくために、当社グループが取り組んでいる支援活動をお知らせいたします。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

セガサミーグループの復興支援活動

セガサミーグループ、及びセガサミーグループ各社におきましては、この度の地震による被災者の救済及び被災地の復興に役立てていただくため、右記の支援活動を続けています。

セガサミーグループでは、義援金の寄贈と従業員による募金活動を実施しています。加えて、当グループの製品・サービスの販売等を通じた支援活動を実施し、日頃よりご愛顧頂いておりますお客様にもご参加いただくことで、お客様と一体となった支援活動に取り組んでいます。この活動の輪は、iPhone等に提供するゲームタイトル購入を通じた募金活動など、国内に留まらず海外にまで広がっています。

セガサミーグループでは、この度日本を襲った未曾有の震災によって被災された方々への支援や、被災地の復興支援に、今後も尽力して参ります。

セガサミーグループ各社における主な取り組み

(2011年5月16日現在)

会社名	主な取り組み
セガサミーグループ全体	<ul style="list-style-type: none"> ●義援金2億円、NGOジャパン・プラットフォームを通じて寄贈 ●セガサミー野球部による街頭募金を実施。集められた義援金は八王子市を通じて寄贈 ●セガサミーグループ従業員からの募金活動を実施
(株)セガ	<ul style="list-style-type: none"> ●国内外でiPhone/iPod touch/iPad向けに提供している一部ゲームタイトルの対象期間内における購入収益全額[USD\$250,000]をセガ及びセガ欧米子会社より赤十字社を通じて寄贈 ●全アミューズメント施設における売上の一部を義援金として寄贈 ●レベニューシェアタイトルの配分収益の一部(自社売上)を義援金として寄贈 ●各種オンラインタイトル・サービスの対象10タイトルにおいて、専用アイテム販売等を通じた募金活動を実施 ●プライズ景品(ぬいぐるみ)を、NPO各団体を通じて被災地に寄贈 ●「龍が如くOF THE END」売上の一部を、日本赤十字社を通じて寄贈
(株)サミーネットワークス	<ul style="list-style-type: none"> ●「777TOWN.net」(PC向け)および「サミー777タウン」において、サービスを利用した募金を実施

会社名	主な取り組み
タイヨーエレクトリック(株)	●日本赤十字社を通じて、義援金1,000万円を寄贈
(株)ダーツライブ・(株)ダーツライブゲームズ・DARTSLIVE ASIA Ltd.	●日本赤十字社を通じて、義援金1,000万円を寄贈
(株)セガ ビーリンク	<ul style="list-style-type: none"> ●全アミューズメント施設における売上の一部を義援金として寄贈 ●全国のダイニングエンタテインメント施設(Bee、KABURA、BeeRUSH)にて募金箱を設置
(株)リアラス	<ul style="list-style-type: none"> ●「予想ネット」のポイントを用いた日本赤十字社への寄付活動を実施 ●「ポイントボックス」のポイントによる募金活動を実施
(株)オアシスパーク	●オアシスパーク(岐阜県)においてインフォメーションコーナーに募金箱を設置
セガサミーゴルフエンタテインメント(株)	<ul style="list-style-type: none"> ●ザ・ノースカントリーゴルフクラブ(北海道)売上の一部を義援金として寄贈 ●被災地支援チャリティコンペを開催 ●クラブハウス内に募金箱を設置

※セガサミーグループ各社の取り組みの詳細につきましては、各社ホームページをご参照下さい。 ※記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



被災地へのぬいぐるみ提供



セガサミー野球部による募金活動

中国国内で アミューズメント機器の 展開を開始!!

セガと上海精文投資有限公司が設立した合併会社、精文世嘉(上海)有限公司は、2010年10月、中国国内におけるアミューズメント機器の生産販売の許可を取得いたしました。これにより、大幅に生産、輸送コストを抑え、中国市場に適応した価格で商品を提供することが可能となり、規制の見直しにより今後成長が期待される同国のアミューズメント市場に対して本格的に事業展開を図ると共に、さらには市場拡大に寄与していくことを目指します。



マリオとソニックがロンドン オリンピックで再競演!!

セガと任天堂株式会社は全世界で大ヒットを記録した「マリオ&ソニック AT 北京オリンピック™」、「マリオ&ソニック AT バンクーバーオリンピック™」に続く作品として、マリオとソニックが競演する家庭用ゲームソフト「マリオ&ソニック AT ロンドンオリンピック™(仮称)」をWii®、ニンテンドー3DS™にて発売することを決定いたしました。前2作品は合わせて全世界で1,900万本を超える販売を記録しております(2010年12月末現在、Wii版・DS版合計)。同ソフトは欧米においてはセガが、日本国内においては任天堂が発売する予定です。



Published by



in North America and Europe

TM IOC. Copyright © 2011 International Olympic Committee ("IOC"). All rights reserved. SUPER MARIO characters © NINTENDO. SONIC THE HEDGEHOG characters © SEGA.

19 91年の発売以来、全世界で累計7,000万本以上の販売を記録した「ソニック」シリーズが20周年を迎えました。本年、セガは応援していただいている皆様に感謝を込め、多くの方に楽しんでいただけるような企画やイベントを世界各地で実施いたします。誕生のそのときから走り続ける「ソニック」は、記念すべき20周年を迎え、さらにスピードを加速します。様々なシーンで活躍する「ソニック」にご期待ください!



©SEGA

**祝!「ソニック・ザ・ヘッジホッグ」
20周年さらなる活躍に
ご期待ください!!**



i Phone/iPod touch向け無料オンラインRPG「Kingdom Conquest」は、北米・欧州を皮切りに昨年11月よりサービスを開始し、全世界でのダウンロード数が100万件を突破いたしました。迫力満点の3Dグラフィックが楽しめる「アクションパート」と、高い戦略性を追求できる「シミュレーションパート」が同時に楽しめる豊かなゲーム性で、世界中のユーザーから高い評価をいただいております。今後も世界各国へサービス対象地域を広げ、より多くの方に楽しんでいただきたいと考えております。



©SEGA

**「Kingdom Conquest」が全世界で
100万ダウンロード突破!!**



2011年米国「Girl Toy of the Year」受賞の 「ぷにっキーズ」が日本上陸!!



セガトイズは2011年米国「Toy of the Year」にて「Girl Toy of the Year/女兒玩具部門」を受賞した大ヒット商品『Squinkies(スクインキーズ)』の日本における販売権を取得しました。100種類以上ものぷにぶにとしたさわり心地のフィギュアを使って、カプセルゲームやアクセサリー作りなどができる玩具です。日本発売名称を『ぷにっキーズ』とし、未就学児から小学生女児をターゲットに今夏から発売します。



©2010 Blip Toys LLC. All Rights Reserved.

大人気「Zoobles!」 のアニメが東アジア全域で スタート!!



全 世界で大ヒット中のアクションカードゲーム「爆丸」に続く、セガトイズとSpin Master社の海外共同開発プロジェクト第2弾である「Zoobles!」(ズーブルズ)が日韓合作のアニメーション番組として、現在韓国で放映されております。また日本でも6月中旬よりセガトイズズーブルズホームページにて、アニメをアップしております。今後もさらに中国をはじめ、東アジア10ヶ国での放送が決定しております。



©SEGA TOYS / SPIN MASTER / ZOOBLES COMMITTEE

エンタテインメントを生み出す、セガサミーグループの主要会社紹介

世界のあらゆる人々に、さまざまなエンタテインメントを提供するセガサミーグループ。ここではグループシナジーを生み出す原動力である、主要4社についてご紹介します。



タイヨーエレクトリック TAIYO ELEC Pachinko & Pachislot



常にパイオニア精神。

タイヨーエレクトリックはパチンコ・パチスロ遊技機の開発、製造、販売を行っています。

時代と情報を先取りしたオリジナリティ溢れるゲーム性及びビジュアル・サウンド等での豊富な演出に重点をおいたパチンコ機及びパチスロ機の開発に努め、今日の遊技機業界における事業基盤を築いてまいりました。絶えず新たなアイデアと創造に取り組むパイオニア精神は、社員ひとりひとりに浸透し、仕事に対する情熱に反映されるとともに活力あふれる社風として根付いています。

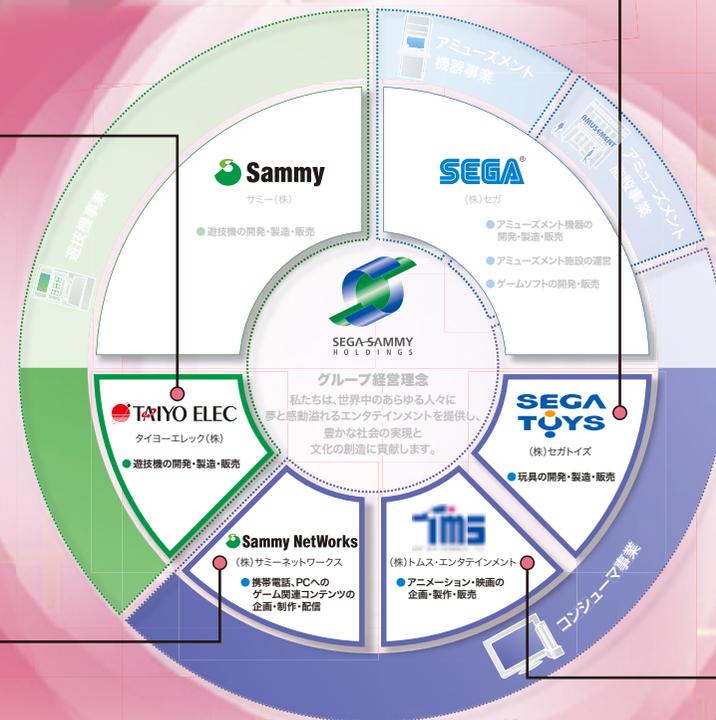
主なコンテンツ

「リングにかけろ」



会社概要

社名:タイヨーエレクトリック株式会社
 設立:1973年7月
 代表者:佐藤 英理子
 資本金:5,125百万円
 従業員:282名(単体・2011年3月末現在)



サミーネットワークス Sammy NetWorks

Mobile & PC



ネットワークを通じて、世の中に、“わっ!!”を提供する。

サミーネットワークスは携帯電話、PC向けのゲーム関連コンテンツの配信サービスを行っています。

PC及び携帯電話向けのインターネットを通じたゲーム関連コンテンツ等の企画・制作・配信など、コンテンツ事業を中心とした事業展開を行っております。コア事業であるPC向けパチスロ・パチンコオンラインゲーム及び携帯電話向けパチスロ・パチンコゲームサイトで多数の有力な遊技機実機のコンテンツ等を配信しています。またSNSをベースにした新しいオンラインゲームの開発など事業領域の拡大に努めております。

主なコンテンツ

「サミー777タウン」



「777TOWN.net」



会社概要

社名:株式会社 サミーネットワークス
 設立:2000年3月
 代表者:大野 政昭
 資本金:2,330百万円
 従業員:156名
 (連結・2011年3月末現在)





世界中の人々に最高の笑顔と感動をお届けします。

セガトイズは玩具の開発・製造・販売を行っています。

「新価値創造for the next smile」を社是とし、従来の玩具の枠にとらわれず、これまでになかった遊びを提案することを目指しております。新たな価値を創造し、人々が本来持っている普通の「遊び心」を満足させるとともに、社会環境や安全性にも十分配慮し、豊かな気持ちを育む社会作りこれからも貢献してまいります。

会社概要

社名：株式会社セガトイズ 資本金：1,804百万円
 設立：1991年2月 従業員：125名(連結・2011年3月末現在)
 代表者：鈴木 義治

主なコンテンツ

「爆丸」



「ズーブルズ」



「ホームスターアークア」



世代を超えて愛されるアニメーション作品を提供します。

トムス・エンタテインメントはアニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出を行っています。

アニメーションを通して、世代を超え、数多くの感動と楽しさ、そして笑顔を提供し、その価値は今や日本国内にとどまらず、世界各国で高い評価を受けております。この大いなる資産を活用し、デジタルコンテンツの配信、新規メディアへの対応など、アニメーションプロデュースの先駆者として、未来へ向けて挑戦しつづけます。

会社概要

社名：株式会社トムス・エンタテインメント
 設立：1946年10月
 代表者：岡村 秀樹
 資本金：8,817百万円
 従業員：158名(単体・2011年3月末現在)

主なコンテンツ

「それいけ!アンパンマン
 すくえ!ココリンと奇跡の星」



「名探偵コナン
 沈黙の15分(クォーター)」



「爆丸 バトルブローラーズ
 ガンダリアンインベーダーズ」



セグメント別概況



遊技機事業



市場環境

- パチンコ機の入替が低調に推移している。
- 斬新なゲーム性を搭載したパチスロ機の供給が開始され、稼動回復や設置台数の増加が見られる。

当期概況

パチンコ

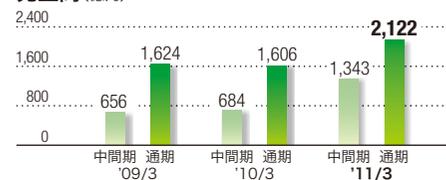
市場の低迷が続くものの、 主力タイトルの販売は堅調

サミーブランドの当期主力タイトル「ばちんこCR 北斗の拳」シリーズを発売し、市場から高い評価を得た結果、200千台を超える販売を記録しました。また、新たなゲーム性を搭載した「デジテンシリーズ」として「デジテンCR逃亡者おりん」、「デジテンCRハクション大魔王3アクビ娘」を発売しました。パチンコ遊技機全体の販売台数は343千台となりました。

主要販売品目(パチンコ)

タイトル名	販売台数	設置時期
ばちんこCR北斗の拳 剛拳(ラオウ)シリーズ	123,939台	7月・9月
ばちんこCR北斗の拳 百裂(ケンシロウ)	78,018台	3月
ばちんこCR獣王	33,691台	12月
ばちんこCR 科学忍者隊ガッチャマン ~運命の絆~ シリーズ	21,097台	8月・1月

売上高(億円)



パチスロ

市場回復を受けて業績が大幅に伸長

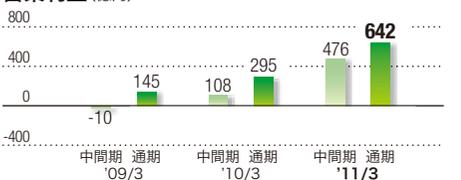
パチスロ遊技機においては、ホールでの稼動回復や設置台数の増加が見られるなど市場が回復傾向にあるなかで、第1四半期に発売したサミーブランド「パチスロ蒼天の拳」の販売が好調に推移しました。さらに、前期に発売した口デオブランド「新鬼武者」の販売も引き続き堅調に推移した結果、パチスロ遊技機全体で前期実績を大きく上回る302千台の販売となりました。また、液晶を中心とした部材のリユースなどに取り組んだ結果、利益率が改善しました。

主要販売品目(パチスロ)

タイトル名	販売台数	設置時期
パチスロ蒼天の拳	92,781台	5月
新鬼武者	62,285台*	前期
俺の空~蒼き正義魂~	38,062台	12月
パチスロ リングにかける1 ~黄金の日本Jr. 編~	36,039台	9月

※「新鬼武者」の前期からの累計販売台数:90,456台

営業利益(億円)



アミューズメント機器事業



市場環境

- 依然厳しい環境が続くなか、UFOキャッチャーなどのプライズカテゴリーを中心に回復の兆しが現れている。
- 市場活性化につながる斬新なゲーム機の開発・供給が期待されている。

当期概況

レベニューシェアタイトルの 好調な稼動が継続

前期に発売した「ボーダーブレイク」および当期第1四半期に発売した「初音ミク Project DIVA Arcade」など、施設運営者の投資効率向上と当社グループの長期安定収益確保を目的としたレベニューシェアタイトルの稼動による配分収益が好調に推移しました。

また、主力タイトル「戦国大戦」や「WORLD CLUB Champion Football Intercontinental Clubs 2009-2010」などのCVTキットや、プライズ

製品およびカードなどの消耗品販売が堅調に推移しました。

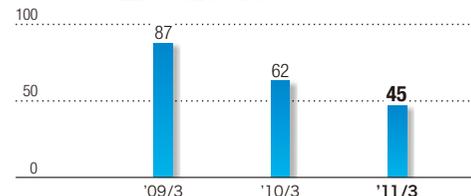
中国におけるアミューズメント機器事業の 展開に着手

セガが上海精文投資有限公司と合弁で設立した「精文世嘉(セイブンセガ)有限公司」が中国におけるアミューズメント機器生産・販売の許可を取得するなど、中国におけるアミューズメント機器事業の展開に着手しました。

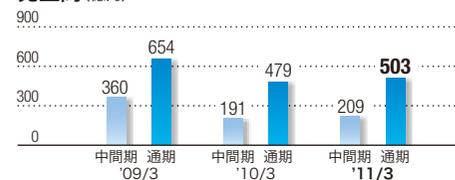
主力タイトルの販売実績

タイトル名	販売実績
戦国大戦	トレーディングカードゲーム 64億円
WORLD CLUB Champion Football Intercontinental Clubs シリーズ	トレーディングカードゲーム 38億円
三国志大戦3 シリーズ	トレーディングカードゲーム 26億円
ボーダーブレイク	ビデオゲーム 25億円

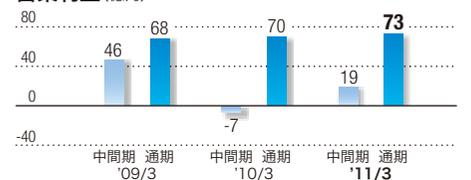
海外での売上高の推移(億円)



売上高(億円)



営業利益(億円)





アミューズメント施設事業



市場環境

●施設運営者の投資効率向上と機器メーカーの安定収益確保を実現するビジネスモデルへの転換が進んでいる。

当期概況

営業費用の削減などにより 営業黒字化を実現

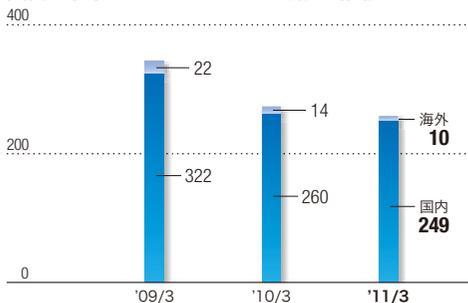
セガ国内既存店舗の売上高は、運営力強化等に取り組んだ結果、第3四半期までの間は前年同期実績を上回る水準で推移しました。しかしながら、本年3月11日に発生した東日本大震災および計画停電等の影響を受け、一部店舗の営業休止および営業時間の短縮を行った結果、当期におけるセガ国内既

存店舗の売上高は前期比99.3%となりました。

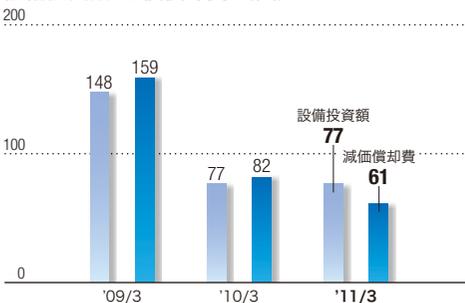
なお17店舗の閉店を行う一方、新規出店を6店舗行った結果、当期末における国内アミューズメント施設の店舗数は249店舗となりました。

店舗数の減少や既存店舗売上高の昨対割れにより減収となったものの、2期前より取り組んできた不採算店の閉店・売却ならびに営業費用の削減などを受けて、4期ぶりに営業黒字化しました。

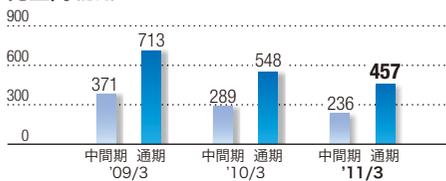
国内、海外のアミューズメント施設の推移 (店舗数)



設備投資額、減価償却費の推移 (億円)



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



コンシューマ事業



市場環境

- 個人消費の低迷などによって、主に欧米市場で需要が低調に推移している。
- SNSやスマートフォン向けなどの新たなコンテンツ市場が拡大している。

当期概況

家庭用ゲームソフト 国内・海外向けに複数のタイトルを販売 海外市場での収益改善が課題に

海外市場向けタイトルとして、「Sonic Colors」や「SHOGUN 2: Total War」、国内市場向けタイトルとして、「ファンタシースターポータブル2 インフィニティ」など、複数のタイトルを販売しました。東日本大震災の影響を受け一部主力タイトルの発売を翌期に延期しましたが、国内におけるゲームソフト販売は堅調に推移しました。一方、海外においては厳しい市場環境を受け、新作販売が低調に推移しまし

た。その結果、ゲームソフト販売本数は合計1,871万本となりました。

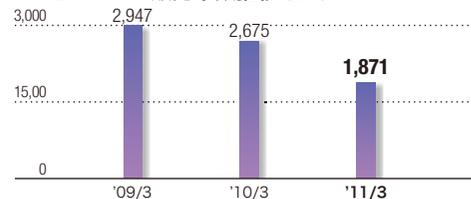
その他事業 グループ力を多様な事業に発揮

玩具販売事業においては、グループ5社を中心とした『爆丸有限責任事業組合(爆丸LLP)』による「爆丸」の販売が堅調に推移したほか、新たな展開として「Zoobles(ズーブルズ)」の販売を本格的に開始しました。

携帯電話・スマートフォン・PC向けコンテンツ事業では、「サミー777タウン」における従量課金サービスが引き続き堅調に推移したほか、新たなプラットフォームに向けたタイトルの供給を本格的に展開しました。

アニメーション映像事業では、劇場第14弾「名探偵コナン」の配分収入や、国内・海外における「爆丸」のロイヤリティ収入が堅調に推移しました。

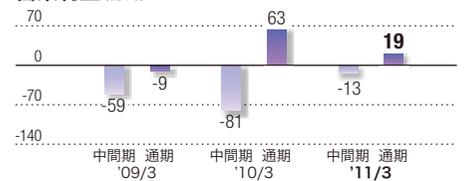
ゲームソフトの販売本数推移 (万本)



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



連結財務諸表の概要

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

資産の部	2011年3月31日現在	2010年3月31日現在
流動資産	315,580	298,730
固定資産	143,044	124,431
有形固定資産	57,140	59,030
無形固定資産	22,754	13,360
投資その他の資産	63,149	52,040
資産合計	458,624	423,161

負債・純資産の部	2011年3月31日現在	2010年3月31日現在
流動負債	109,028	92,817
固定負債	64,135	73,573
純資産	285,461	256,770
株主資本	289,077	259,468
その他の包括利益累計額	△13,883	△23,222
新株予約権	406	1,188
少数株主持分	9,861	19,335
負債・純資産合計	458,624	423,161

資産の部 変動要因

譲渡性預金の満期償還等により現金・預金が増加したほか、翌連結会計年度からの連結納税制度導入に伴う繰延税金資産の回収可能性の見直し等により、流動資産は168億50百万円増加しました。また、保有有価証券の時価の上昇等を背景として投資有価証券が増加したほか、(株)サミーネットワークス、(株)セガトイズ及び(株)トムス・エンタテインメントの完全子会社化によるのれんが増加したこと等により、固定資産は186億12百万円増加しました。この結果、当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ354億63百万円増加し、4,586億24百万円となりました。

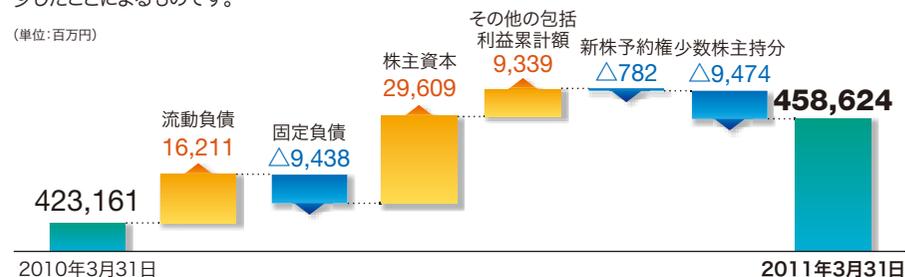
(単位:百万円)



負債・純資産の部 変動要因

負債合計は、前連結会計年度と比較して67億73百万円増加しました。このうち、流動負債は未払法人税等が増加したこと等によって全体では162億11百万円増加しました。固定負債は社債が減少したこと等によって全体では94億38百万円減少しました。純資産は、前連結会計年度末に比べ286億90百万円増加しました。これは主に当期純利益の計上や株式交換により株主資本が前連結会計年度と比較して296億9百万円増加したほか、その他有価証券評価差額金が110億4百万円増加した一方で、少数株主持分が94億74百万円減少したことによるものです。

(単位:百万円)



連結損益及び包括利益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	自 2010年4月 1日 至 2011年3月31日	自 2009年4月 1日 至 2010年3月31日
売上高	396,732	384,679
売上原価	230,677	245,811
売上総利益	166,055	138,867
販売費及び一般管理費	97,304	102,154
営業利益	68,750	36,712
営業外収益	1,812	1,958
営業外費用	2,439	2,745
経常利益	68,123	35,925
特別利益	3,705	3,125
特別損失	14,361	11,953
税金等調整前当期純利益	57,467	27,097
法人税等合計	13,320	5,627
少数株主利益	2,636	1,200
当期純利益	41,510	20,269
少数株主利益	2,636	-
その他の包括利益	9,288	-
包括利益	53,435	-

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

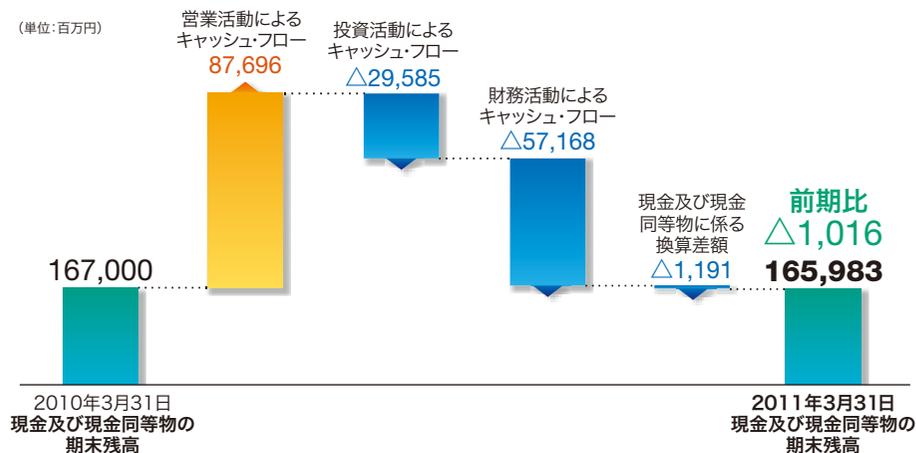
	自 2010年4月 1日 至 2011年3月31日	自 2009年4月 1日 至 2010年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,696	54,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,585	△7,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,168	△3,401
現金及び現金同等物の期末残高	165,983	167,000

当期純利益・包括利益 変動要因

当連結会計年度は前連結会計年度と比較して120億53百万円の増収に留まったものの、主に遊技機事業セグメントにおいて原価低減等を図った結果、利益率が大幅に改善し、売上総利益は271億88百万円の増加となりました。さらに、広告宣伝費の抑制等により販売費及び一般管理費が48億50百万円減少したことから、営業利益は320億38百万円増加しました。また、翌連結会計年度により連結納税制度の適用を予定しており、繰延税金資産の回収可能性が見直され、従来と比べ税金費用が121億54百万円軽減されています。以上の結果、当連結会計年度における当期純利益は前連結会計年度と比較して212億41百万円増加しました。また、包括利益については、その他有価証券評価差額金が109億86百万円増加したことを主因として、当期純利益と比べて119億25百万円増加しています。

キャッシュ・フロー 変動要因

税金等調整前当期純利益574億67百万円を計上し、売上債権が100億33百万円減少したこと等により、当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは876億96百万円の収入となりました。有価証券の取得により243億円を、有形固定資産の取得により109億1百万円をそれぞれ支出したこと等により、当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは295億85百万円の支出となりました。配当金の支払(少数株主への配当金を含む)により92億9百万円を、自己株式の取得により245億30百万円を、社債の償還により206億0百万円をそれぞれ支出したこと等により、当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは571億68百万円の支出となりました。以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ10億16百万円減少し、1,659億83百万円となりました。



連結財務諸表の概要

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
2010年3月31日 残高	29,953	171,080	132,128	△73,694	259,468	346	24	△5,966	△17,626	△23,222	1,188	19,335	256,770
剰余金の配当			△8,816		△8,816								△8,816
当期純利益			41,510		41,510								41,510
株式交換による増加		△11,294		32,890	21,595								21,595
自己株式の消却		△40,000		40,000	-								-
自己株式の取得				△24,530	△24,530								△24,530
自己株式の処分		△1		3	2								2
連結範囲の変動			△155		△155								△155
土地再評価差額金の 取崩			2		2			△2		△2			-
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額(純額)						11,003	△24		△1,637	9,341	△782	△9,474	△915
2011年3月31日 残高	29,953	119,784	164,669	△25,329	289,077	11,350	△0	△5,969	△19,264	△13,883	406	9,861	285,461

詳細な財務情報は、当社ホームページ
投資家情報コーナーでご確認ください。

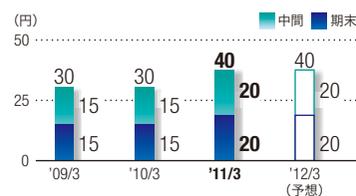


<http://www.segasammy.co.jp/japanese/ir>

配当金のご案内

第7期の期末配当金は、以下のとおり実施いたしました。

配当金 1株につき20円
効力発生日(支払開始日)..... 2011年6月2日



IRインフォメーションセンター

株式情報、企業情報等に関してご不明な点がございましたら
下記までお問い合わせください。

電話番号 03-6215-9954 9:00~18:00

土日祝日および当社の定める休業日に準じてお休みをいただいております。
ご了承ください。

IRインフォメーション

会社データ 2011年3月31日現在

会社名	セガサミーホールディングス株式会社	
英文表記	SEGA SAMMY HOLDINGS INC.	
所在地	〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル	
URL	http://www.segasammy.co.jp	
事業内容	総合エンタテインメント企業グループの持株会社として、グループの経営管理およびそれに附帯する業務	
設立	2004年10月1日	
資本金	299億円	
従業員	6,000名(連結)	
役員および監査役	代表取締役会長兼社長	里見 治
	代表取締役副社長	中山 圭史
	取締役	白井 興胤
	取締役兼CCO	小口 久雄
	取締役	岩永 裕二
	取締役	夏野 剛
	常勤監査役	嘉指 富雄
	監査役	平川 壽男
	監査役	宮崎 尚
	監査役	榎本 峰夫

株式概要 2011年3月31日現在

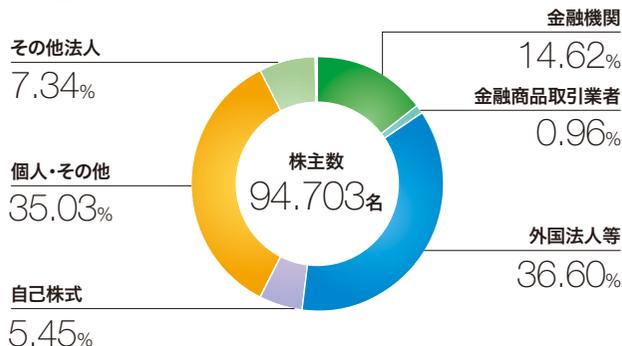
会社が発行する株式の総数……………普通株式 800,000,000株

発行済株式総数……………普通株式 266,229,476株

大株主の状況

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
里見 治	43,569,338	17.48
メロンバンクエヌエートリーティークライアントオムニバス	18,128,563	7.27
セガサミーホールディングス株式会社	14,504,662	-
有限会社エフエスシー	14,172,840	5.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,454,100	4.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,998,300	3.21
ステートストリートバンクウェスト ペンションファンドクライアントツエグゼンプト	4,448,554	1.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,283,800	1.31
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	2,945,886	1.18
メロンバンクエヌエーアズエージェント フォーイットクライアントメロンオムニバス ユーエスペンション	2,938,041	1.17

所有者別分布状況

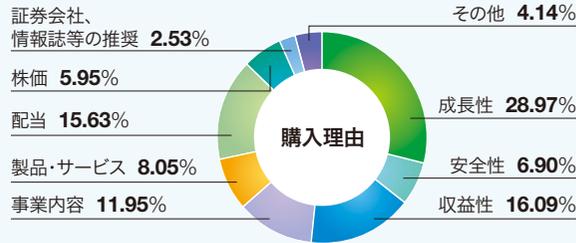
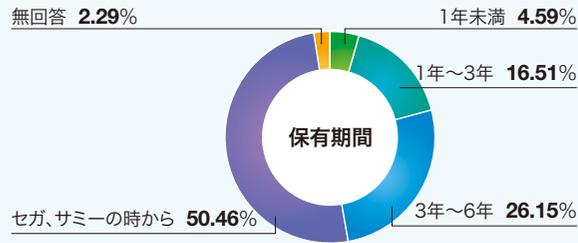


株主メモ

証券コード	6460
1単元の株式数	100株
事業年度末	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月中
剰余金の配当の基準日	期末配当: 3月31日 中間配当: 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告の方法	電子公告
公告掲載URL	http://www.segasammy.co.jp なお、止むを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載しておこなうものとします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話: 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 当社株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行(株)のホームページでは、株式の名義書換、単元未満株式の買取または買増、その他株式に関する諸手続きについてご案内しております。なお、証券会社の口座で株式をお持ちの方はお取引のある証券会社へご照会ください。 (三菱UFJ信託銀行のホームページ) http://www.tr.mufg.jp/daikou/

株主さま向けアンケート 集計結果のご報告

当社では、株主の皆さまが当社の経営や情報開示・IR活動に対して、どのようなことを期待されているのかを知るため、第6期株主通信でアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。皆さまからの貴重なご意見を活かし、IR活動のさらなる充実に努めていきます。



アンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆さまとのコミュニケーション強化を目的に、アンケート調査を実施しています。お手数ではございますが、下記ホームページにアクセスしていただき、ご協力をお願いいたします。

<https://www.segasammy.co.jp/enquete>

なお、アンケートは携帯電話からもアクセスできます。QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



アンケートに関するお問い合わせ先

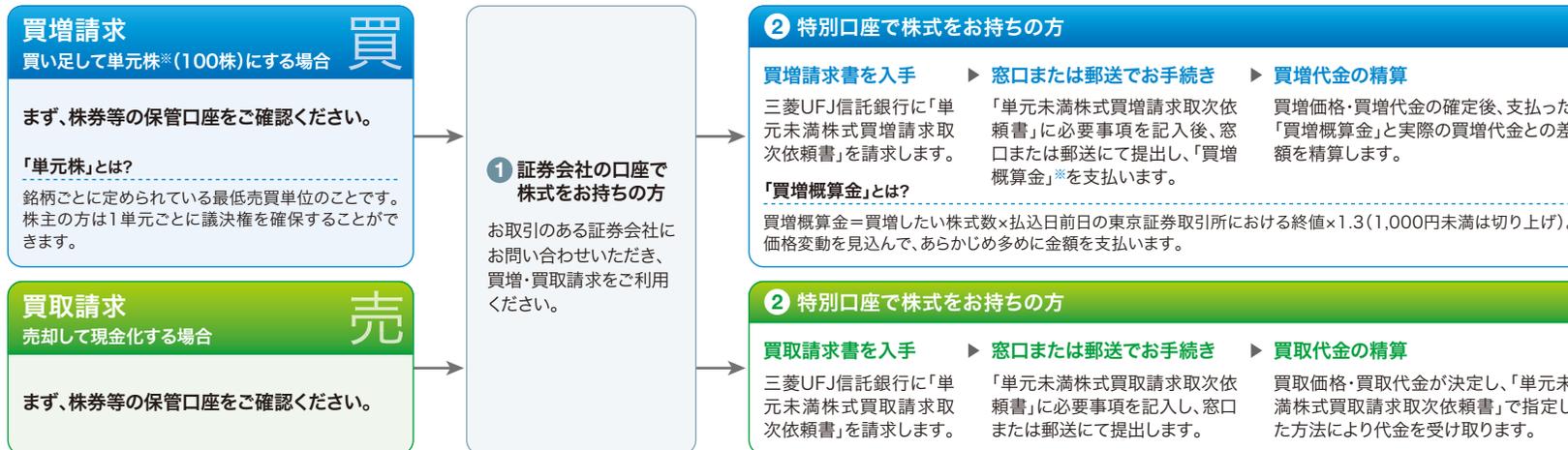
セガサミーホールディングス IRインフォメーションセンター

電話番号 **03-6215-9954**
開設時間 平日 9:00～18:00

土日休祝日および会社休業日は休みとさせていただきます

単元未満株式に関する手続き

100 株に満たない株式(単元未満株式)をお持ちの方は、下記の通り、買増・買取請求をご利用いただけます。



株式お手続き用紙のご請求について

単元未満株式買取または買増請求取次依頼書のご請求につきましては、下記にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

●フリーダイヤル

0120-244-479

(三菱UFJ信託銀行本店証券代行部)

●インターネットアドレス

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



セガサミーホールディングス株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル

見直しに関する注意事項

この資料に記載されている、セガサミーホールディングス株式会社及びグループ企業に関する業績見直し、計画、経営戦略、認識などの将来に関する記述は、当社が現時点で把握可能な情報に基づく将来に関する見直しであり、その性質上、正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。従って、これらの情報に全面的に依拠されることはお控えいただきますようお願いいたします。実際の業績に影響を与える要因は、経済動向、需要動向、法規制、訴訟などがありますが、業績に影響を与える要因はこれらの事項に限定されるものではありません。

表紙画像について

「ソニック・ザ・ヘッジホッグ」©SEGA